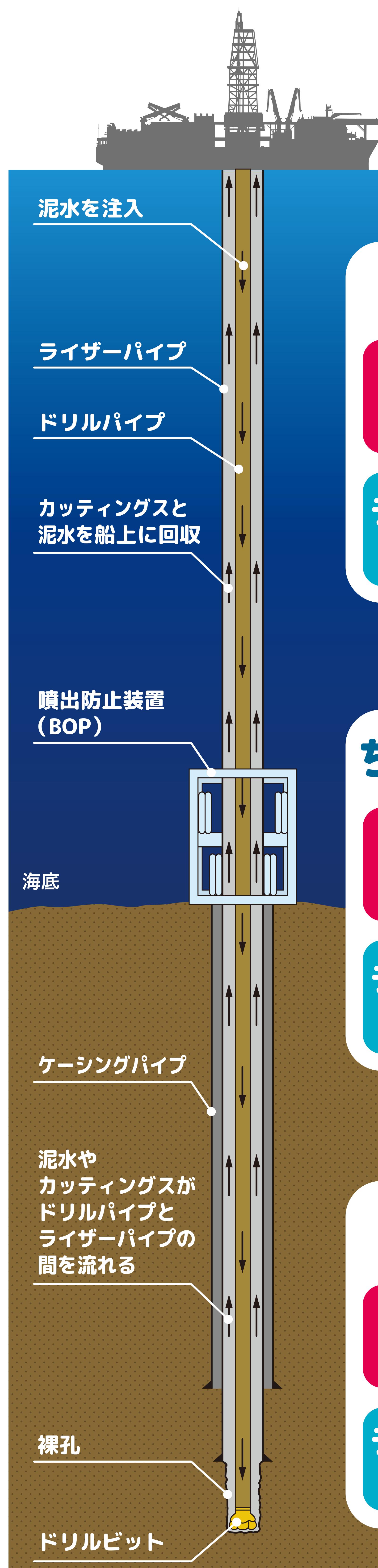
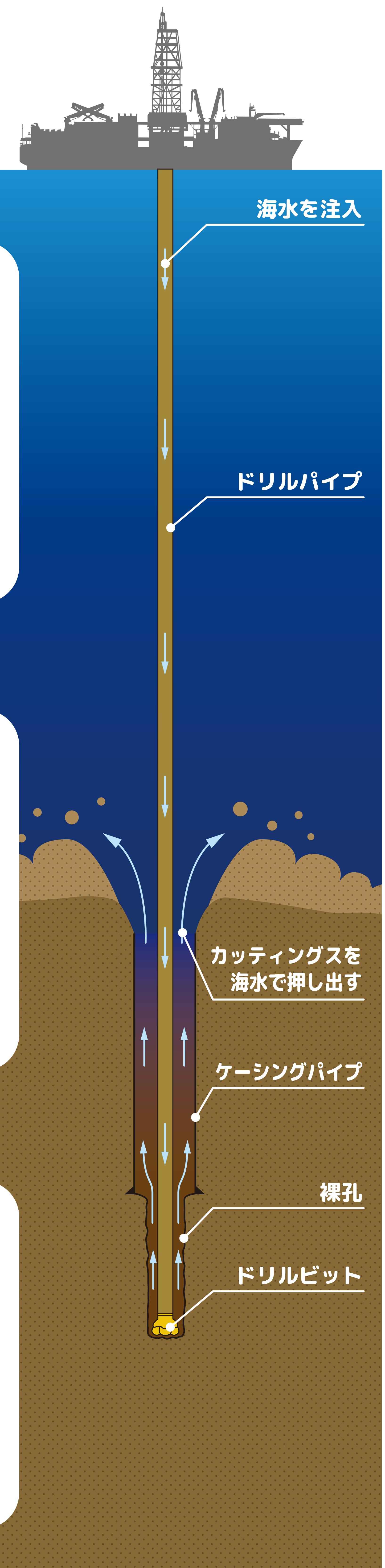


ライザー掘削とライザーレス掘削のちがい

ライザー掘削



ライザーレス掘削



ちがい① 掘削可能な深度

ライザー 掘削

大深度掘削に適する。泥水を使用することにより、掘削孔を壊さずにより深いところまで掘削可能。時間とコストはかかるが確実に掘り進むことができる。

ライザーレス 掘削

浅層部分の掘削に適する。短い期間で多くの場所を掘削できる。

ちがい② カッティングスの処理方法

ライザー 掘削

船上から海底下に泥水をながして掘進によるカッティングスは貴重な地質試料として泥水と一緒に船上に回収。泥水は調整して再利用する。

ライザーレス 掘削

船上から海水を注入して掘りくずを押し出す。カッティングスは回収しない。

ちがい③ 掘削に使うパイプ

ライザー 掘削

泥水循環を行うためにドリルパイプとライザーパイプの二重構造。そのため、再度パイプを同じ孔に降下しやすい。

ライザーレス 掘削

ドリルパイプのみで掘る。

